



2024大会の概要について

- ▼日時 令和6年10月14日（月・祝）
 - 【ハーフマラソン】 9時30分 スタート
 - 【2km・高校生以上】 9時47分 スタート
 - 【2km・中学生以下、親子】 9時49分 スタート
- ▼定員 【ハーフ】2,600人 【2km】400人
- ▼募集期間 6月10日（月）～ 8月5日（月）※先着順
- ▼会場 舞鶴赤れんがパークほか
- ▼コース 舞鶴赤れんがハーフマラソンコース（日本陸連公認）

【主催】舞鶴市、（一財）京都陸上競技協会

【共催】（一財）舞鶴市スポーツ協会、海上自衛隊舞鶴地方隊、海上自衛隊第21航空群

【主管】舞鶴赤れんがハーフマラソン実行委員会、舞鶴市陸上競技協会



4 舞鶴赤れんがハーフマラソン2024の開催について

コースについて



【ハーフの部】

舞鶴東体育館前スタート ～ 前島埠頭
～ 海上自衛隊舞鶴航空基地
～ 自衛隊棧橋 ～ 大波街道 ～
日本板硝子舞鶴工場付近折り返し
～ 赤れんがパーク ゴール

【2kmの部】

舞鶴東体育館前スタート ～ 商工観
光センター前折り返し ～ 赤れんが
パーク ゴール

ゲストランナーについて



千葉 真子さん

【プロフィール】

1976年生まれ、京都府宇治市出身。

立命館宇治高校から旭化成に入社。1996年アトランタ五輪1万メートルで5位入賞、1997年アテネ世界選手権1万メートルで日本女子トラック長距離種目初となる銅メダルを獲得。2度目の世界選手権はマラソンに出場し、銅メダルを獲得。世界で初めて世界選手権のトラック、マラソン両種目でメダルを手にした。

第一線を退いた後は、ゲストランナーとして全国のマラソン大会に出演するほか、「千葉真子BEST SMILE ランニングクラブ」を立ち上げ、市民ランナーの指導や普及活動も積極的に行っている。

【ゲストランナーの予定】

- ▼スタートセレモニーへの参加・あいさつ
- ▼参加ランナーと共にコースをランニング
- ▼参加ランナーの応援
- ▼表彰式への参加 など

4 舞鶴赤れんがハーフマラソン2024の開催について

舞鶴赤れんがハーフマラソンの特徴

【「2023大会」が全国ランニング大会100選に初選出】

・全国のランナーが選んだ評価点の高い大会として、「舞鶴赤れんがハーフマラソン2023」が選ばれたもの。

【東京マラソン2025提携大会】

・ハーフマラソン完走者の中から、抽選で3名に、大人気の東京マラソン出走権を付与（参考：東京マラソン倍率 約11倍 ※近年は発表なし）

【HMCC（ハーフマラソンチャレンジカップ）の参加大会】

・（一財）アールビーズスポーツ財団が主催する、エリート層の強化、市民ランナーの拡大、大会の活性化などを目的とするプロジェクト



4 舞鶴赤れんがハーフマラソン2024の開催について

【参考】過去の申込者数

年度	大会内容	申込者数
平成25年	舞鶴赤れんがハーフマラソン初開催 ※市制施行70周年記念事業	2,466人
平成26年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2014 ※定員増加(2,500人⇒2,600人)	2,589人
平成27年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2015	2,631人
平成28年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2016	2,642人
平成29年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2017	2,696人
平成30年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2018	2,622人
令和元年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2019 ※定員増加(2,600人⇒3,000人)	2,996人
令和2年度	コロナ禍の影響により中止	
令和3年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2021 オンライン開催	1,236人
令和4年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2022	2,092人
令和5年	舞鶴赤れんがハーフマラソン2023	3,003人



問い合わせ先

事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
舞鶴赤れんがハーフマラソン2024の開催について	スポーツ振興課	堂田 小谷	66-1058	62-9891	suposin@ city.maizuru.lg.jp